

平成30年5月11日

各位

会社名 株式会社セキュアヴェイル
 代表者名 代表取締役社長 米今政臣
 (コード番号3042 JASDAQ)
 問合せ先 取締役専務執行役員 神戸仁
 (電話 06-6136-0026)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月13日に公表しました平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	872	△2	△2	△3	△0.92
今回修正予想(B)	830	11	4	6	2.13
増減額(B-A)	△42	13	6	9	
増減率(%)	△4.8	—	—	—	

2. 平成30年3月期個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	865	4	4	3	0.92
今回修正予想(B)	830	22	19	19	6.05
増減額(B-A)	△35	18	15	16	
増減率(%)	△4.0	450.0	375.0	533.3	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	792	53	54	42	13.23

3. 修正の理由

(連結業績予想)

平成30年第4四半期末時点において、当社の売上高は、セキュリティサービス事業では既存顧客を中心に引き続き受注増となっておりますが、前回業績予想を下回る結果となりました。要因としては、大手既存既顧客の大型案件が次年度に繰り越しとなったことによります。また、連結対象会社の株式会社キャリアヴェイルの人材確保が計画より遅れた事で、積極的な営業活動が行えず、売上を上げる事ができませんでした。その結果、前回業績予想を下回る結果となりました。

一方で、売上の推移を元に、販売費及び一般管理費の削減に取り組み、人員構成の見直しを行いました。その結果、営業利益、経常利益ともに、前回の業績予想を上回る見込みであります。

(個別業績予想)

連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高は業績予想を下回りますが、経常利益及び当期純利益ともに上回る見込みであります。

ご注意:

本資料に記載されている連結、個別の業績予想の記述につきましては、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上